



RENKEI

第19号

2021.12

発行元

松江市在宅医療・介護連携支援センター

TEL: (0852) 61-3741 FAX: (0852) 21-5377

メールアドレス: renkei@shakyou-matsue.jp

住所: 〒690-0852 島根県松江市千鳥町70番地 松江市総合福祉センター1階 社会福祉法人松江市社会福祉協議会

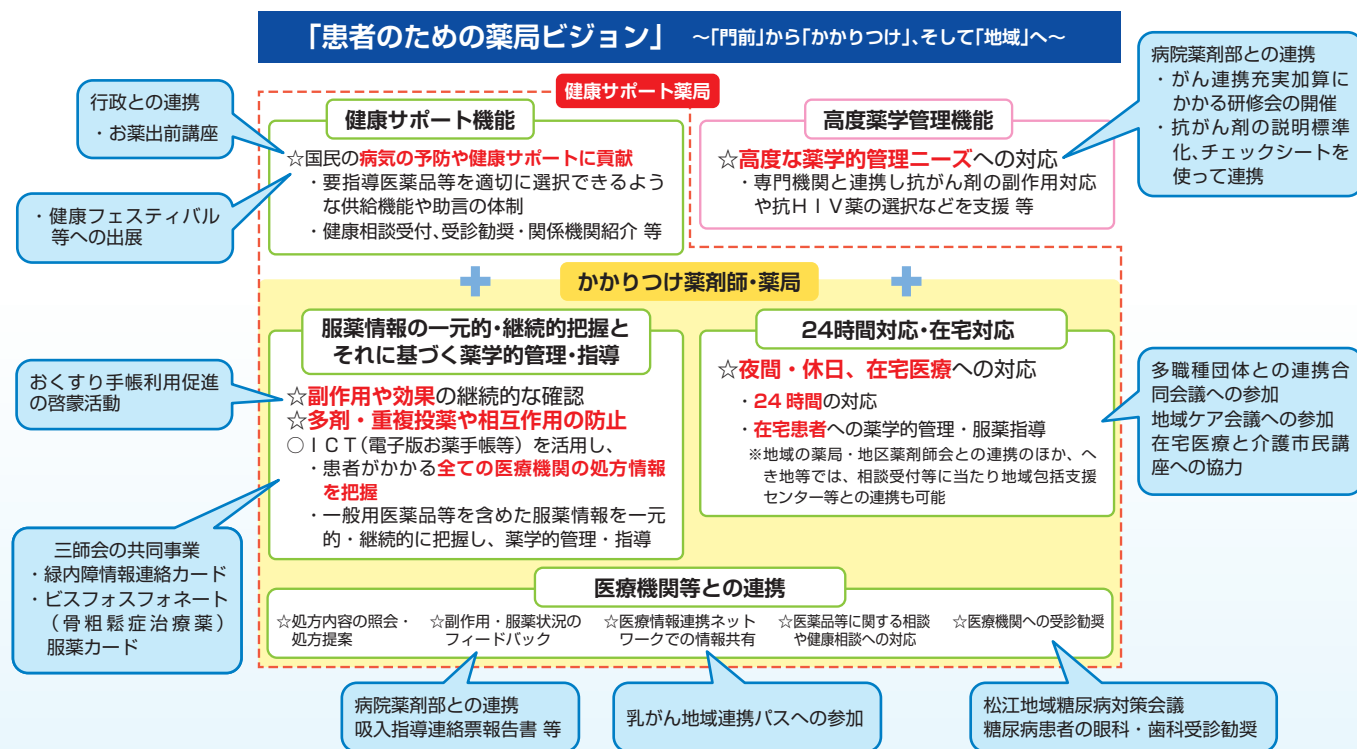
ホームページもご活用下さい >>> 松江市在宅医療介護

検索

松江市薬剤師会の活動紹介

11月15日現在、松江市には98か所の薬局があります。

下記の「患者のための薬局ビジョン」とは、「かかりつけ薬剤師・薬局機能」を軸に、「健康サポート機能」「高度薬学管理機能」から構成されるビジョンのことです。患者本位の医薬分業の実現を目的として、2015年10月に厚生労働省が策定しました。松江市薬剤師会ではこの「薬局ビジョン」に沿って吹き出し部分の活動をしています。例えば公民館や集会所でお薬出前講座を行ったり、患者に対する抗がん剤の説明やその後のフォローアップを病院薬剤師と連携しながら取り組んでいます。多職種との連携にも積極的に取り組み、もし薬に関する相談があれば、気軽に薬局、または松江市薬剤師会にご連絡ください。



ひとくちメモ その1

①おくすり手帳で災害時もいつもの薬をスムーズに受け取ることができます。

東日本大震災以来、災害時でもこれまで通りの薬を服用するためのツールとしておくすり手帳への関心が高まっています。

医療用の薬は本来、医師の診察を受けた上で処方箋を出してもらわなければ、薬局で受け取ることはできません。しかし、熊本地震の際に厚生労働省は、お薬手帳があれば持病を持つ被災者が処方箋を持たずに薬局を訪れた場合でも、後から処方箋を書いてもらうことを条件に薬局で薬を受け取ることができるようにしました。

ひとくちメモ その2

②薬局に関する情報は「島根県薬剤師会ホームページ」をご覧ください。

訪問指導の応需と実績、ケアカンファレンス・退院時カンファレンスの参加、麻薬処方への応需、無菌注射薬調剤対応、24時間対応などの項目で検索可能です。

ご活用ください!!

在宅医療・介護連携支援センターの ホームページをリニューアルしました。



項 目	内 容
業務内容	センターの業務内容について
見やすくリニューアル! 地域の医療・介護の資料集	市内の医療・介護の資源について、 ①センターが調査した訪問看護ステーション・訪問リハビリテーション・施設等の医療等対応一覧 ②松江市にある医療機関・介護事業所等の情報を調べることができるウェブサイトを一覧にし、リンク ③病院の情報 ④認知症の方の支援 その他
松江市内医療介護共通書式	多職種が使用している共通書式を紹介。
研修情報	センターに寄せられた情報を元に、松江市または近隣で開催される医療・介護に関する研修（市民向けも含む）をカレンダーにし、公開。
NEW ! 松江の ACP 準備中	ACP を普及啓発するために発足したまつえアドバンスケア・プランニング普及啓発協議会の活動について、紹介。
新型コロナウイルス関連の情報	行政のホームページへのリンク、感染対策動画などを紹介。施設での感染対策が多数紹介されている「全国老人福祉施設協議会」HP へのリンクもしています。
災害対策関連情報	行政のホームページへのリンク、動画や資料の紹介。
松江市在宅医療・介護市民講座	センターが地域住民や多職種のご協力により行っている市民講座について紹介。
RENKEI（広報誌） 年 4 回発行	市内の多職種の皆様やセンターの活動について紹介。 バックナンバーを掲載。

新型コロナウイルス感染症 第6波に備えて

令和3年12月2日・3日に保健所・介護保険課の共催で、施設向けに研修会が開催され、第5波のまとめ、感染対策、ゾーニング、施設で感染者の発生した場合の松江保健所の対応について説明がありました。

今後、オミクロン株の出現や年末年始での人の移動もあり、ワクチンの効果が切れてくる時期とも一致することから、今後も注意が必要です。研修会での一部の内容をお伝えします。

松江管内での第5波(7月～9月)のまとめと注意事項

- ①7月86人、8月311人、9月122人、計519人の感染者(松江管内)
- ②陽性者は青・壮年層が中心。10歳未満も1割あった。
- ③感染経路(推定)は「県外の人との接触」、「飲食を共にした」が多いが、8月、9月は「感染経路不明」が半数以上で市中感染が起こっていたと考えられた。
- ④ワクチン接種が済んだが感染した(ブレイクスルー感染)例は約1割にみられた。
- ⑤ブレイクスルー感染した人は重症化しないが、自覚症状に乏しかった。
- ⑥ブレイクスルー感染した人が人に感染させた例は約4割に見られた。**無症状か症状があっても軽微であった。** 利用者・職員の健康観察の徹底
- ⑦ワクチン接種により症状は修飾されるため、風邪様症状、軽微な症状に注意が必要。施設内への持ち込みは不可避との前提で平素の感染防止に留意すること。

発生時の対応体制の確認

標準予防策の徹底
感染リスクのある行為を控える

「新型コロナウイルス感染拡大」の経験を今後活かそう!

～ 島根県訪問看護ステーション協会松江支部の動き ～

昨年、5月に「新型コロナウイルス感染拡大に伴う現状調査」を行いました。衛生材料など物品の不足・利用者の感染拡大に対する不安・恐怖や行動制限からADL・体力低下が懸念される。という結果が出ていました。

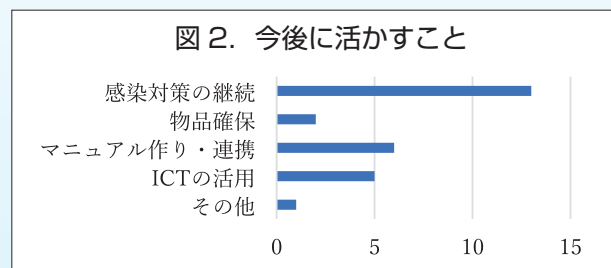
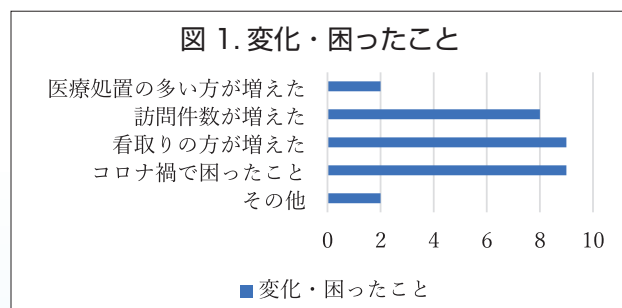
1年半が経過し、感染拡大の長期化により、訪問看護ステーションの活動の実態を再度、把握し、今後につなげようと島根県訪問看護ステーション協会松江支部と当センターと共同で、アンケート形式による現状調査を行いました。

- 実施期間:10月5日～10月31日。
- 対象者:島根県訪問看護ステーション協会
松江支部会 29事業所
- 実施方法:アンケート形式による質問
- 回収率:75.9%。

以下に、アンケート結果内容を抜粋し、お知らせします。

Q:昨年度から今年度において、訪問内容・件数に変化

がありましたか?に対し、58%が、「変化があった」としました。その変化の内容は「訪問件数・看取りの方の増加」が多かった(図1. 参照)。その要因として、病院での面会制限もあり、在宅での看取りを希望(関心)する利用者・家族が増えた。医療処置が多い・精神科疾患患者など、従来の訪問回数より、頻回の訪問や対応が必要な利用者の増加が、影響しているという意見が出ていました。



また、64%のステーションが、人手不足を感じていました。

訪問依頼をすべて受けることが出来ず、断ったケースもあったようです。受けるにも、もともと、慢性的な人手不足状態に、訪問件数の増加が加わり、訪問枠の空きがないことが、断る理由の52%を占めていました。

しかし、今後活かすこととして、「感染対策の継続」「物品確保」「感染症や災害に対する標準化マニュアル作り」「日常

からの職能団体の連携」「業務効率化に向けてのICTの活用」「今回の体験をただ記憶に残すより、今後の資料として記録に残す」(図2. 参照)など、多忙な中でも今回の感染症拡大の体験を前向きにとらえる姿勢が見られていました。



Information ～活用しよう！いろいろな情報～

☆松江市の災害対応について 動画視聴のご案内

近年、各地で自然災害等が発生しており、この松江市においても7月は豪雨災害にみまわれました。

そこで、医療・介護サービスに従事される皆様が松江市の防災対策について学び、担当している利用者の方に災害時の避難行動や心構えなど話をするきっかけづくりにしていただければと思い、松江市のご協力をいただき、地域包括支援センターが動画を作成いたしましたので、ご覧ください。

- 内 容：注意しておくべき災害・避難に向けた準備（正しい情報）・避難行動（適切な行動）
・ 要配慮者が備えるべきこと等・要配慮者支援組織について
- 掲載先：「まつえし社協 YouTube」で検索、「包括公開講座」に掲載しています。
資料は、松江市社会福祉協議会ホームページ「新着情報一覧」に掲載していますので、ダウンロードしてください。

● QRコード ●



☆「松江市個別地域ケア会議事例集」ができました

地域ケア会議は、地域包括ケアシステムの実現に向けた手法です。高齢者個人への支援の充実、それを支える社会基盤の整備を進めることを目的に行われています。

松江市地域包括支援センターは居宅のケアマネジャーや包括から提出された事例を下記の①～③の方法で個別地域ケア会議を実施しています。

- ①自立支援・介護予防に向けた目標設定、目標達成に向けたアプローチ方法、地域資源等の助言を多職種から受ける。
- ②評価会議：①の会議開催から6か月後のプランの内容、効果等検証を行い、プランの質の向上、地域課題の抽出を行う。
- ③主に処遇困難事例について、地域の関係者や関係機関で検討。事例によっては第三者の専門職（助言者）からも助言を受ける。

このたび、これらの会議をもとにした、「松江市個別地域ケア会議事例集」が作成されました。松江市社会福祉協議会ホームページ→高齢者に関すること→地域包括支援センター→事業所・施設向け情報に掲載されていますので、ご覧ください。

紹介事例

- 1 転倒をきっかけに閉じこもりになった
- 2 電動四輪車の運転をやめたくない
- 3 「生きていても仕方がない」
- 4 閉じこもりの長女との生活
- 5 糖尿病の合併症で、調理が辛くなってきた
- 6 高齢者施設に入居したら、地域との交流がなくなった
- 7 このままでは体力低下や認知症が心配
- 8 自分の目で見て買い物がしたい

※事例について個人が特定されないよう適宜改変しています。